

エコドライブを楽しもう

運輸部門の二酸化炭素排出量のうち、約半分が自家用乗用車からの排出です。環境に配慮した運転「エコドライブ」の実践が求められています。良いことづくめのエコドライブ。できることから始めてみませんか。エコドライブを楽しむ地球人サイト、ReCoo (<http://www.recoo.jp/>) では、燃費向上シミュレーションやエコドライブのアドバイスなどを行っています。ぜひ、ご覧ください。

エコドライブ6つのポイント

①ふんわりアクセルスタート

普通の発進より少し緩やかに発進する。雪道発進のイメージで、5秒で時速20*を目安に。

②加減速の少ない運転

加減速の繰り返しは燃料消費を増加させます。先の状況をよく見て早めに対処し、できるだけ速度変化の少ない運転をしましょう。

③早めのアクセルオフ

早めにアクセルから足を離してエンジンプレーキで減速しましょう。

④アイドリングストップ

ある程度の時間、停止するときはアイドリングストップをしましょう。

⑤タイヤの空気圧は適正に

タイヤの空気圧が不足すると、多くの燃料を消費します。定期的にチェックし、適正な空気圧で走行しましょう。

⑥不要な荷物は積まない

加速時に掛かる抵抗が大きくなったり、アクセルを強く踏み込みがちになると、車が重くなるほど燃料消費が多くなります。

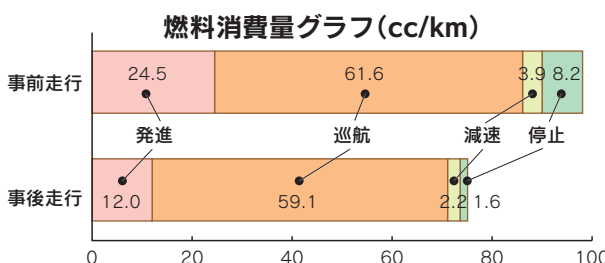
エコドライブ教習会

●参加15人の平均

普段通りの運転	平均燃費 1ℓ当たり10.4*
講師の指導による運転	平均燃費 1ℓ当たり12.41* (約19.3%改善)

●西村さんの結果

エコドライブ実施前後の比較			
改善量 (cc/km)			改善率 (%)
事前走行	事後走行	差分	
98.2	74.9	23.3	23.7



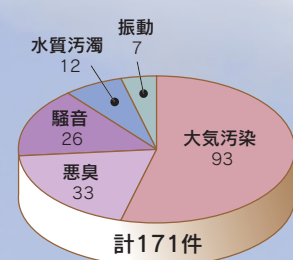
エコドライブ実践者の声
西村 良子さん

大手町一丁目

わたしは仕事で1日100km程度走ることもあるので、エコドライブには以前から関心がありました。教習会に参加して、今までの運転とエコドライブを実践したときを比べて驚きました。ふんわりアクセルやアイドリングストップで燃費が約2割、改善されました。

朝夕の忙しい時間にエコドライブしていると、後ろの車から距離を詰められることもあります。毎日の生活の中で、みんながエコドライブを意識することが大切だと思います。そうすることで、環境に優しいだけでなく、安全運転で交通事故も減るのではないのでしょうか。

公害苦情件数



近隣に配慮した生活を

昨年度、市が受け付けた公害苦情は171件。中でも焼却の苦情を含む大気汚染は大きな割合を占めています。原則としてごみ焼却は法律と県条例で禁止されています。家庭ごみの焼却も規制対象となる場合があるので注意しましょう。また、グラフのとおり悪臭や騒音に対する苦情の割合も多くなっています。

近年、工場や事業所の周辺に住宅が増加したことにより、生活環境の苦情が増えていきます。近隣間の問題が苦情として寄せられることも多くなっており、規制がわからず、苦情の解決が長期化しています。普段から近隣に配慮した生活を心掛けましょう。

6月は環境月間

身近なことから！地球温暖化防止

6月5日(木)は環境の日。6月は環境月間です。わたしたちは日常生活で環境にさまざまな負担を与えています。今回の特集では身の回りですぐにできる環境に優しい取り組みや市民による環境保全活動などを紹介します。現在はもちろん、その先もずっと環境の恵みを受けられるように、ライフスタイルを見直し、環境に優しい生活を心掛けてみましょう。

問い合わせは
環境課 28600-9202



地球温暖化と京都議定書

地球温暖化とは、人間の活動によって大気中の温室効果ガス(二酸化炭素など)の濃度が高まり、その温室効果により地表の温度が上昇する現象です。温暖化が進むと、異常気象・気象災害の増加、生物種の減少、農作物への被害などが起こります。

わが国は、平成9年「地球温暖化防止京都議定書」で、平成20年から平成24年の間に、平成2年対比で6%削減をすることを国際社会に約束(京都議定書)。法令や制度の整備、国民運動の展開などを行っています。温室効果ガス排出量は年々増加(平成2年と比べ平成18年で6.4%増)し、公約達成は容易ではありません。特に家庭から排出される二酸化炭素は、核家族化の進行や家電機器の増加に伴い、平成2年と比べ平成18年で30%以上も増加しています。私たち一人一人がそのことを認識し、積極的に行動していきましょう。